

第10回 伊勢・三河湾の環境と漁業を考える
—伊勢湾全域のアサリ資源の復活をめざして—

共 催：水産海洋学会，三重県水産研究所，愛知県水産試験場，三重県総合博物館

後 援：三重県漁業協同組合連合会，愛知県漁業協同組合連合会

日 時：2014年11月29日（土）13：00～17：00

場 所：三重県総合博物館 レクチャールーム（三重県津市一身田上津部田3060）

コンピナー：畑 直亜，羽生和弘，国分秀樹（三重県水産研究所），
黒田伸郎，宮脇 大（愛知県水産試験場），日比野 学（愛知県農林水産部水産課）

総合司会：国分秀樹（三重県水産研究所）

挨拶：和田時夫（水産海洋学会長），遠藤晃平（三重県水産研究所） 13：00～13：10

北村淳一（三重県総合博物館） 13：10～13：20

趣旨説明：羽生和弘（三重県水産研究所） 13：20～13：30

【話題提供】 座 長：国分秀樹（三重県水産研究所）

1. 三河湾ではいかにしてアサリの豊漁が維持されているのか 13：30～14：00
黒田伸郎（愛知県水産試験場）

【テーマ1】伊勢湾のアサリ資源の現状 座 長：畑 直亜（三重県水産研究所）

2. 伊勢湾三重県側のアサリ資源の現状と課題 14：00～14：25
羽生和弘（三重県水産研究所）
3. 伊勢湾愛知県側のアサリ資源の現状と課題 14：25～14：50
宮脇 大（愛知県水産試験場）

—休 憩— 14：50～15：00

【テーマ2】アサリ資源の回復へ向けた取り組み 座 長：宮脇 大（愛知県水産試験場）

4. 伊勢湾内のアサリの成熟と産卵状況について 15：00～15：25
長谷川夏樹（増養殖研究所）
5. 伊勢湾におけるアサリ母貝場の造成と保護 15：25～15：50
畑 直亜（三重県水産研究所）
6. 浅海域の波浪環境がアサリの生息に与える影響とその対策 15：50～16：15
桑原久実（水産工学研究所）

【総合討論】 伊勢湾のアサリ資源回復へ向けて，課題と対策の整理

座 長：国分秀樹（三重県水産研究所） 16：15～17：00

- ①資源保護と管理，②稚貝移植，③母貝場，稚貝場造成と湾内の土砂管理，④貧酸素

開催趣旨：伊勢湾では，1980年代に約17000トンの生産のあったアサリが2010年には約3000トンまで減少し，現在も低迷を続けている．今後資源回復を図るためには，伊勢湾沿岸の関係者による縦割りを超えた真摯な論議と統一的な行動が必要であり，資源管理や海域環境保全についての目標や方法を再検討する時期であるといえる．本研究集会では，伊勢湾全域におけるアサリ資源の動向と回復へ向けた取り組みについてレビューし，安定的なアサリ漁業生産が維持されるための課題と方策について総合的な議論と整理を行う．

博物館展示見学：希望者のみ（団体割引料金）

17：00～19：00（閉館まで）